

水素専焼小型貫流ボイラ (WILLHEAT)



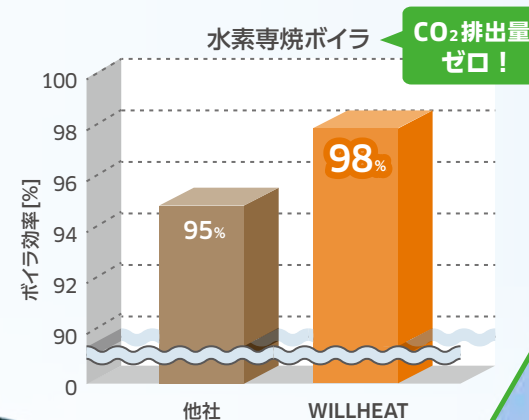
2026

Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2023 年：初回登録

水素専焼 (CO₂ 排出量ゼロ) で業界トップレベルの
ボイラ効率を実現しました

Kawasakiグループの独自技術による予混合式低NO_xバーナ
を採用した水素専焼貫流ボイラであり、高いボイラ効率98%を
実現しました。



予混合式低NO_xバーナ

製品紹介

化学製品、鉄鋼、食品加工や空調など様々な分野で
利用可能な水素専焼小型貫流ボイラ

特長

- 苛性ソーダ由来などの副生水素の有効利用はもとより、将来的な水素社会でも活用できます
- 国内で一般的な出力規模である換算蒸発量 750～2000kg/h の 4 機種をラインナップしました
- 小型ボイラ規格であり取扱資格不要です (事業所の特別教育受講者が取扱可能)
- 実績豊富な WILLHEAT のユーザーインターフェースを採用し、取扱いが簡便です
- NO_x 排出量 50ppm (O₂=0%) 以下を達成しました